

小児がん治療、 予防接種の再接種費用の助成を！



小児がんの治療では、骨髄移植などを受けると、それまで予防接種で得られたワクチンの抗体を失うことが多く、ワクチンを再接種する必要があります。しかし、現在の制度では、再接種の費用は、全額自己負担となっています。

この問題は、国が措置すべき課題ですが、黒岩祐治知事に対し、国に先駆けて県として制度を作っていくべきと求めました。

知事は、「市町村の中には、小児がん患者への支援として再接種費用の助成を行っているところや助成を検討しているところもある。私も、小児がんなどで大変な思いをしている方々への支援は必要だと考えているので、こうした市町村の取組を後押ししたいと思っている」と答弁。「そこで、県としても、どのような支援策が必要か市町村の意見を伺った上で、速やかに実施できるよう取り組んでいきます」と明言しました。



運転免許更新の高齢者講習、 円滑な実施を！

近年、高齢運転者による重大交通事故が全国で相次いで発生し、大きな社会問題となっています。こうしたことから、運転免許の更新にあたっては、70歳から74歳までは2時間の「高齢者講習」を受講が義務付けられています。さらに、75歳以上は受講に先立って「認知機能検査」を受けて、その検査結果により、2時間から3時間の講習を受講しなければなりません。

一方で、全国的に受検・受講待ち期間が長期化しており、私自身も高齢者の方々から、「年末から翌3月にかけて、予約が取りにくい」との声を多くいただきました。

そこで、神奈川県警察の古谷洋一本部長に対し、高齢者講習の円滑な実施を求めました。

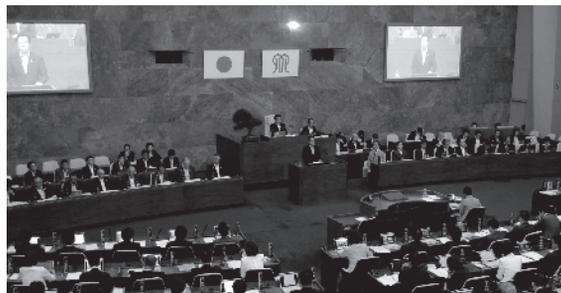
これに対し、本部長は、今年3月に40校の自動車教習所に対して受入れ人数の拡大を働きかけ、その結果、県内の高齢者講習の受講待ち期間は、昨年の79日から、今年6月末には64日に短縮されたと答弁。さらに、今後も高齢者講習の受講待ち期間の短縮を図るほか、高齢運転者に対する早期予約の周知を継続して行うなど、円滑な実施に向けての取組を進めていくと述べました。

これを受けて私は、「今後は、自動車教習所だけではなく、二俣川にある県警察の運転免許センターでも、高齢者講習を実施してもらいたい」と強く要望しました。

代表質問から

このほか、代表質問では以下の項目について質問を行いました。

- ①私立高等学校の学費補助の
拡充について
- ②がん患者へのアピアランス(外見)
ケアの拡充について
- ③手術支援ロボットの県立病院への導入と活用について
- ④アクセルとブレーキの踏み間違い防止装置の補助について
- ⑤大規模災害時の民民連携について
- ⑥民間企業との連携と協力に関する包括協定について



活力と 安心・安全の 神奈川を目指して



- 1962年 和歌山県海南市生まれ
- 1981年 和歌山県立海南高校卒業
- 1983年 大阪外語専門学校卒業
- 1988年 創価大学文学部社会学科卒業（在学中にアリゾナ大学に留学）
- 1989年 ロイター通信社入社（経済記者・ロイターテレビ日本語副編集長を歴任）
- 2005年 衆院選初当選（比例区・南関東ブロック）
- 2006年 総務大臣政務官
- 2008年 国土交通大臣政務官
- 2011年 神奈川県議選初当選（大和市選挙区）
- 2015年 神奈川県議選2期目当選
- 2019年 神奈川県議選3期目当選

県議会

環境農政常任委員会

かながわグランドデザイン調査
特別委員会

党役職

公明党 神奈川県本部 幹事長

県議会控室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県議会公明党控室

TEL: 045-210-7630

FAX: 045-210-8912



- ブログ
<https://blog.goo.ne.jp/kazufumi-taniguchi>
- facebook
<https://www.facebook.com/kazufumi.taniguchi>
- ツイッター
https://twitter.com/kazu_taniguchi
- 谷口かずふみ 県政報告サイト
<https://www.kazufumi-taniguchi.com>